

会 議 録		令和 4 年10月 6 日作成	令和 8 年 3 月末日廃棄
会議名	京都府南丹警察署協議会（令和 4 年度第 2 回）		
開催日	令和 4 年 9 月 28 日（水曜日）		
時 間	午後 3 時15分から午後 4 時45分までの間（90分）		
場 所	京都府南丹警察署 講堂		
出席者	橋本会長、高御堂副会長、山下委員、塩内委員、徳島委員、森（雅）委員、 廣瀬委員 計 7 人		
	署長、副署長、会計課長、警務課長、生活安全課長、地域課長、刑事課長 交通課長、警備課長、広聴相談係長、交通課員（2名） 計12人		
諮 問 事 項	交通事故防止対策について		
会 議 内 容	1 署長挨拶	司会	副署長
	2 会長挨拶		
	3 協議		
	(1) 諮問事項説明	司会	会長
	交通事故防止対策について～交通課長 （交通事故発生状況、危険予測トレーニング、可搬式オービスの説明、 通学路で発生した人身交通事故ドライブレコーダーの視聴） 【委員】 京都府内、南丹署管内の交通事故発生状況について説明を受けたが、 事故の発生状況を集計して分析している部署はあるのか。 また、その分析結果をどのように活用されているのか。 【警察】 発生状況の集計分析については、警察本部交通企画課において行われ、 京都府警察のホームページに掲載されている。そして、分析結果については、 各警察署にフィードバックされるとともに、発生場所、時間帯、事故形態等のデータを 集約・分析して地図で示すGIS（地理情報システム）を使った交通事故発生マップを 作成していることから、フィードバックされた分析結果と交通事故発生マップを照らし 合わせる等して、交通事故多発場所における効果的な交通指導取締りやパトカーによる レッド走行等を集中的に実施している。		

会 議  
内 容

【委員】南丹署管内には、環状交差点が一箇所あるが、車両ごとに方向指示器を出すタイミングが違い、交通事故を誘発しかねないと感じている。環状交差点に入る時と出る時の方向指示器を点灯する規定について伺いたい。

【警察】環状交差点に進入する時は方向指示器の点灯は不要であるが、環状交差点から出る時には進行しようとする方向に方向指示器を点灯する必要がある。

方向指示器を点灯するタイミングは、3秒、30メートル手前での点灯を目安とするように広報している。

【委員】道路上で、消えかけている矢印標識がある場合の補修の時期について伺いたい。

また、道路に関係する補修に関して、警察と道路管理者で担当は分かれているのか。

【警察】交通規制に関係する補修は警察の担当となる。具体的には、横断歩道の表示、停止線、追越し車線の実線等は警察の担当となる。外側線、中央線等に関係する補修は道路管理者の担当となる。

道路補修は予算の関係があることから、劣化の具合を確認しながら、早期の補修上申を心掛けている。

【委員】道路標識や歩行者信号機に蔭がかかって見えにくくなっているところがあるが、このような場合はどのように対応しているのか。

【警察】道路の一補修として、道路管理者の責任としてやっていただいている。質問内容の苦情要望が警察にも寄せられるが、その際は、警察から道路管理者に連絡して対応を依頼している。警察は、道路環境維持のために道路管理者と連携を密に取っている。

【委員】可搬式オービスは持ち運びしやすく、ドライバーから見えにくいという説明を受けたが、可搬式オービスでの取締りはどこに重点を置いて行っているのか。

【警察】可搬式オービスは通学路対策を主眼とした配備となっており、通学路を中心として取締りを行っている。

【委員】ドライバーに対して、可搬式オービスでの取締りを広く周知して、速度違反の抑制を図っていただきたい。

【委員】自転車も車両なので左側通行だと思うが、交差点の形状によっては左側右側関係なく自転車が走行している状況を見る時がある。自転車の交通ルールの遵守については、どのように住民への広報を行っているのか。

【警察】自転車は左側通行である。自転車の交通ルールについては、ここ10年社会的に関心が高くなってきた問題であり、小学生や中高生の学生

会 議  
内 容

を中心に交通安全教育を推進しているところであるが、意識の浸透にはまだ時間がかかると考えており、今後とも住民に分かり易い交通安全教育を行っていく。

【警察】環状交差点の通行方法、自転車の交通ルールについては、運転免許更新時に教養を行っているほか、京都府警察ホームページにも掲載している。

(2) その他

【委員】新聞、インターネットサイト等で全国の警察官の不祥事が多く載っている。京都府警でも、揉めごとに対応した警察官による暴行事案があったが、署員の不祥事防止のために南丹署ではどのような教養を行っているのか。

【警察】被疑者の制圧に関しては、当署では警務課、地域課を中心として、適正で効果的な制圧方法の訓練を繰り返し実施し、署員の技能向上に努めている。

先般、他府県警察の制服警察官による、たばこのポイ捨てやヘルメットを被らずに公用二輪車を運転する動画等がインターネットに投稿されていたが、スマートフォン等の普及により、警察活動が撮影されてインターネット上に投稿されるケースが増えている。

南丹署では、当府警察、他府県警察の不祥事案を他人事と捉えず、「いつも心に制服」を着ている気持ちを持って、適正で適切な警察活動を行うことが地域住民からの支持、信頼の獲得に繋がることを署員に意識付けするために、幹部からの実体験に基づいた機会教養、不祥事案や好事例を紹介した教養資料に基づく教養等を徹底している。

【委員】管内の治安維持のためには、治安維持を国民から負託されているという意識を持ち、地域住民から信頼される警察活動を行うことが大切であると考えている。今後とも、署員の意識付けを図るための諸教養をお願いする。

【警察】 本日の各委員からの意見については、今後の警察署業務の参考とさせていただきます。今後とも忌憚のない意見をお願いします。

4 事務連絡

令和4年度第3回南丹警察署協議会の開催日については、日程調整の上、連絡させていただく。

以上

## 第2回京都府南丹警察署協議会の開催状況

